

### 第3章 リスクアセスメント導入のための資料集

|     |       |   |
|-----|-------|---|
| 187 | (駐車場) | 警備員が、駐車車両をバックで出庫させる際、後退しながらの誘導であったため、歩道の縁石に気が付かずにつまずいて転倒し、打撲する。                           |
| 188 | (駐車場) | 作業員が、駐車場で自転車・バイクを整理中、隣に駐車中のバイクが倒れ、足の甲にあたり骨折する。  |
| 189 | (駐車場) | 警備員が、屋外駐車場で出入車の誘導中、一旦停止中の車が突然動き出し、体に接触して腰を強打する。   |
| 190 | (駐車場) | 警備員が、駐車場出口で、駐車料金の精算中に車が突然動きだし、足を轆かれ骨折する。  |
| 191 | (駐車場) | 警備員が、降雨中の駐車場で、滑って転倒した客を助けようとして滑って転倒し、腰を強打する。  |
| 192 | (警備)  | 警備員が、門扉付近で警備業務を行っていたところ、傾斜部に停車していた無人の車両が動きはじめて、警備員の背後から激突し、骨折する。                          |
| 193 | (警備)  | 地下鉄駅の券売機を入れ替えるため、ゴム製キャタビラ付き動力運搬機を使って作業員2人で駅構内の階段を上っている時、運搬機が後方に倒れ落下し、階段にいた警備員が下敷きになり死亡する。 |
| 194 | (点検)  | 警備員が警報装置を点検するとき、装置が机の下の狭い場所にあったため、体を屈めた無理な体勢で作業を行い、腰痛になる。                                 |